



— 日本語とドキュメンタリー映画によるフォーラム —

東アジアの若者たちからの メッセージ

— 主催 —

NPO法人日韓・アジア教育文化センター
<http://www.jk-asia.net/>





趣旨

日本の私たち[小中高大教員、日本語教員、映像・写真・デザイナーそして学生たち]は1994年から、東アジアに位置する国・地域[韓国・中国・台湾(中国・台湾とは1998年から)]の高校・大学で日本語を教える先生方、日本語を学ぶ学生達と、「日本語の教育」を共有基盤に、共生と平和への思いを込め、神戸・ソウル・釜山・上海・香港を舞台に交流を続けて来ました。

そして2006年の上海での交流では、日本の若い映像作家によるドキュメンタリー映画『東アジアからの青い連』^{さざなみ}を制作し、現在翌年(2007年)香港での“国際化と若者のアイデンティティ”を主題にした交流の映像作品化を模索しています。また今年(2009年)、日中台関係、中台関係での難しい政治課題がありますが、私達として初めての台湾(台中)での開催を目指しています。(概要は別紙を参照ください)

私たちは日韓中台の若者たちが、それぞれの抛て立つ現在と過去を見つめ直し、世界の共生と平和に向けて東アジアで何が共有でき、何が発信できるのか、そしてそれは混迷と厳しさを増す現代世界にどのような有効性を持つのか、を東アジアで考えることの意義、活きた言葉の力を思っています。それは人の生と文化に係ることであり、私たちの団体名称である「教育文化」につながることでもあると思っています。

私たちは14年間の交流[その内容についてはホームページを参照ください]から、外を知ることが内への眼を深めること、そしてそこから新たな外への眼の広がりが生み出されることを実感してきました。

これは国際化が伸展することで複雑多様化する現代社会にあって、ナショナルなものとインターナショナルなものとの間での自己検証であり、自己確立につながることへの期待でもあるのですが、まだまだ茫漠としています。

今回のこの「日本語と映像による」企画が、それぞれの抛て立つ場への再考・再発見の、また東アジアはもとより多様な地域の人々との対話の、契機となると同時に私たちの活動の深化へなることを願っています。

協賛助成

協賛団体 機関

大阪YMCA

【団体概要】 <http://www.osakaymca.or.jp/>

聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざし多様な活動を展開。

協賛

WAA(We Are Asian)の会

【団体概要】

アジア人(アジアのスケールで考え、アジアを舞台に活動する人)として活躍している人、アジア人を目指す人、アジア人を応援する人の交流、及び日本に留学、就職しているアジア各国の人たちとの交流を目的に1996年に発足し、月例会また海外研修企画を開催。(代表:田辺孝二[東京工業大学院]・潜道文子[高崎経済大学])

日本僑報社・日中交流研究所

【団体概要】 <http://duan.jp>

北京大学客員研究員・明治学院大学非常勤講師とともに、中国新聞社特約記者等、日中にあって研究とジャーナリズムの世界で広範な活動を展開している段 耽中氏が、「永遠の隣人」としての日中相互理解、「日中友好の架橋」を目指し、出版・翻訳学院開設・日本語作文コンクール等々の多角的な活動を行っている団体。

NPO法人国際人材交流支援

【団体概要】 <http://npoiex.web.fc2.com/>

協力機構[IPEX]

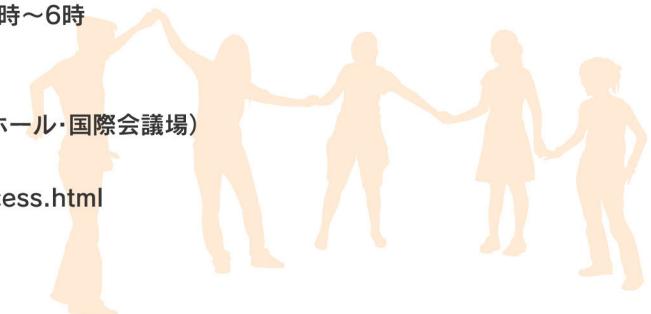
1979年に発足した有志の会中国研究グループが母体となり「将来の日本と中国、アジアの関係に温かく豊かなイメージを抱いて勉学や研究に励む若い人達」を対象に、留学に係る様々な支援・国際文化学術交流での顕彰・日本語教育支援等を松岡温彦理事長他7人の理事が中心となって運営、展開している団体。

韓国日本語教育研究会

ソウル日本語教育研究会

香港日本語教育研究会(予定)

上海市甘泉外国语中学(中学校高等学校)

日 時	2009年3月20日(金)祝日[春分の日] 午後1時~6時	
会 場	早稲田大学 早稲田キャンパス18号館 総合学術情報センター(中央図書館・井深大記念ホール・国際会議場) 国際会議場 第2会議室(3階) http://www.wul.waseda.ac.jp/Libraries/access.html	
参 加 費	無料	
お 願 い	2007年香港での交流と会議のドキュメンタリー映画の完成と今年(2009年夏)開催を目指しています台湾での交流と会議は、眼前の私たちの課題です。それらにつきましてのお願いを別紙に記しています。ご支援・ご協力いただけましたら私たち一同大きな喜びであり、大きな励みとなります。	
問合せ先	日韓・アジア教育文化センター y_ijima0823@yahoo.co.jp 井嶋 悠	

第一 部

司会進行 井嶋 悠(日韓・アジア教育文化センター代表)
李 埃鎧(ソウル・高校日本語教員、現在早稲田大学院留学中)

I 開会

II 東アジアの若者からの発題

『今、日本に在って(生活して)思うこと』を主題にした、日本語による発題(スピーチ)

発題者 本センター主催「第3回日韓アジア教育国際会議」(2006・上海)もしくは「第4回日韓アジア教育国際会議」(2007年・香港)に参加した学生で、現在首都圏で留学・入学の学生及び日本人海外帰国学生。

○韓国／金 球靈

2006年上海会議参加。ソウル光新高等学校を卒業し、現在東京の日本語学校在籍。今春東京の大学進学予定

○台湾／姜 怡瑄

2006年上海会議参加。幼少時より台湾と日本を行き来し、東京都立国際高等学校を卒業し、現在法政大学国際文化学部在籍

○日本／河野祐子

2007年香港会議参加。香港で生まれ、幼少時帰国し、小学校から中学校はシンガポール日本人学校。再帰国後、東京の私学に入学するも不登校となり、大阪の私学に転校し、今春より関西外国語短期大学に進学

(テープでの特別参加)

○上海／嚴 偉

2006年上海会議参加。上海市甘泉外国语中学[中学高等学校]卒業後、現在復旦大学政治学部思想政治教育学科二年生。今年9月から早稲田大学に交換留学生として1年間留学

○香港(予定)

III の発題を基にした発表学生たちとの、

A. 日韓中からのゲストスピーカーによるコメントと質疑応答

尹 裕淑氏 千葉韓国教育院長

川口義一氏 早稲田大学教授・日本語教育

三原龍志氏 前、国際交流基金ソウル日本文化センター派遣専門家

現、国際交流基金日本語国際センター専任講師

段 躍中氏 日本僑報社主・日中交流研究所長

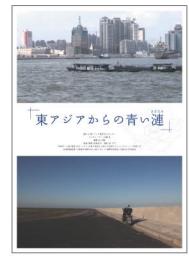
B. 会場参加者との質疑応答

第二部

日本人映像作家による、2006年上海での学生交流ドキュメンタリー映画『東アジアからの青い漣』
及び「2007年香港での学生交流予告編」を基にした映像制作者たちからのメッセージとフリートーク

A. 映画上映【「東アジアからの青い漣」(60分)・香港版予告編(5分)

事実の撮影を集成(編集)し真実を伝えると言われているドキュメンタリー映画。この「東アジアからの青い漣」は、監督(逢坂芳郎)の映画観からも詩情溢れる作品です。監督の、また制作者の私たちの伝えたい真実[主題(メッセージ)]が、この映像叙情詩からどのように伝わるのか、更にはドキュメンタリー映画についても対話できることを期待して、上映します。



B. 対話

発題: 映像制作者による作品の意図・思いと期待 [制作者: 逢坂芳郎氏・里 才門氏・山田健三氏]

逢坂芳郎 [1980年 北海道・十勝帯広(北海道帯広市)生]

北海道帯広柏葉高校卒業。カリフォルニア州立大学フラトン校コミュニケーション学を経てニューヨーク市立大学ブルックリン校映画制作学科。2005年卒業後、東京を拠点にフリーランスの映像作家として活動。

[主な仕事歴] IKEA、Yoji Yamamoto Y's Red Label、British American Tobacco、音楽家・渋谷慶一郎との映像作品等。

里 才門 [1978年 イギリス ロンドン生]

大阪インターナショナルスクール卒業。ニューヨーク市立大学ブルックリン校映画学科脚本専攻2003年卒業。卒業後、東京を拠点に映画・テレビ制作現場で現場通訳、コーディネーターとしてたずさわる。

[主な仕事歴] 2005年よりNHK教育テレビ・英語番組「とっさのひとこと」「100語でスタート」「きょうから英会話」等のスキット脚本を担当。またNHK教育テレビ・クロスメディア企画 英語番組「リトル・チャロ からだにしみこむ英会話」番組制作補等。

山田健三 [1980年 北海道・十勝帯広(北海道帯広市)生]

北海道帯広柏葉高校卒業。バンタンデザイン研究所 グラフィックデザイン専攻を経て、2001年 (株)オムニ・アドバタイジング入社・(株)海拓舎入社後、2005年渡英。COVENDISH COLLEGE Diploma in Photography修了。卒業後、東京を拠点にグラフィックデザイナーとフォトグラファーとして活動。

[主な仕事歴] EMIミュージックやコロンビアエンタテインメントのCDやDVDのジャケットデザイン制作。東京ヴォードヴィルショーのチラシやアーティストの写真撮影等。

C. 参加者とのフリートーク

第三部

高校留学生による「創作絵本」のスライド紹介とフリートーク

このスライド上映の意図はキリスト教文化圏からの日本への留学生の二つの作品から、日本のこと・アジアのことなどを考える一つのきっかけにして欲しいとの気持ちです。制作時は25年ほど前ですが、ますます考えさせられるものです。また南アジア仏教圏タイからの留学生の作品には、日本への慈愛の眼差しが溢れています。



A. スライド上映

[作品] [ストーリー・描画ともに留学生自身による創作です]

1982年「動物たちの夢」—— アメリカ: ベブ ケンプ/スザン オライリー

[作品概要] 日本で生活する動物たち(犬・猫・兔・小鳥)が、憧れのアメリカに行き、体験し気づかされたことから取った行動は…。

1983年「きっとどつかに」—— ベネズエラ: エミリア マス

[作品概要] 日本の少女が、桜の小枝に世界の共生平和の夢を託して地球を東奔西走して得たことは…。

1985年「タイと日本の文化」—— タイ: ベンジャワン プームサン

[作品概要] 日本とタイの文化について、対比的に描いた日泰比較文化絵本。

[補注: これらの作品は、井嶋が当時在職校で行った海外からの高校留学生[1年間]への日本語指導の一環で制作したものです。]

B. フリートーク

IV ————— 閉会

V ————— 懇親会(会費制による希望者・会場は学外)

ドキュメンタリー映画制作等への資金支援また活動への助言のお願い

企画実現への経費調達は、企画毎に助成機関団体に申請したり、
企業等の協賛を模索したりいろいろと試みてはいますが、
常に難しい現実の大きな課題・壁です。

今回私たちの活動を知ってください、関心と賛意を寄せていただけた方

不躾なお願いですが、以下のご支援をいただくことができましたら私たち一同
大きな喜びです。よろしくお願ひ致します。

上海での学生発表の記録映像と『東アジアからの青い漣』^{さざなみ}2枚1組の購入
費用 —— 4,000円(送料込み)

未完成ドキュメンタリー映画香港版への資金支援
1口 —— 500円

本センター活動へのご助言・ご協力の意思表示

上記に対して意思表示をいただけます場合、お手数ですが、下記へご連絡ください。

日韓・アジア教育文化センター主事務所

y_ijima0823@yahoo.co.jp 井嶋 悠

栃木県那須塩原市青木506-14 井嶋方

○作品購入及び資金支援につきましては、折り返し本センター口座番号等をご連絡致します。
また領収書等につきましてのご指示も併せてお願い致します。

○助言・協力につきましては、その内容をお聞かせください。

ご連絡をいただけました節には、返信を差し上げるだけでなく、
今後活動のご案内また近況・報告をお伝えし、ネットワークを広げる一助としたく思っています。
尚、ご連絡くださる際、お名前・ご連絡先住所・ご連絡先電話番号・
現在のお立場(学校・仕事等)を忘れずにお願い致します。